

## 定例会の 主な内容

第12回（2月）定例会を、2月6日から3月17日までの40日間にわたり開催しました。この定例会では、市長から令和8年度の施政方針が述べられたほか、令和7年度関係議案及び令和8年度関係議案等63件、議員提出議案1件を審議し、議決するとともに、7件の報告を受けました。また、13人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。（P.6～9）  
ここでは、令和8年度の一般会計、特別会計（4事業）及び企業会計（3事業）の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

## 特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会 計	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率
国民健康保険事業	189億9,100万円	187億6,100万円	1.2%
土地取得事業	5,900万円	5,600万円	5.4%
介護保険事業	181億4,000万円	180億6,500万円	0.4%
後期高齢者医療事業	38億5,700万円	36億円	7.1%
合 計	410億4,700万円	404億8,200万円	1.4%

## 企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率
病院事業	129億3,400万円	128億5,300万円	0.6%
水道事業	67億5,900万円	63億5,700万円	6.3%
下水道事業	108億100万円	105億2,100万円	2.7%
合 計	304億9,400万円	297億3,100万円	2.6%

### 特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 国民健康保険事業における地域未来交付金を活用する事業の内容は。

**答** 本交付金は、地域の課題解決に資する取組に対して交付されることから、被保険者の利便性向上のために活用する。具体的には、24時間対応が可能な電話の自動音声案内により、電子申請へ誘導するなどの自動電話応答サービスを導入するほか、申請のたびに振込先口座の指定が必要であった高額療養費について、申請の簡素化を図るためのシステム改修を行う。

**問** 令和8年度の診療報酬改定が市立病院の経営に与える影響は。

**答** 診療報酬の改定により、

賃上げや物価高への対応が図られることや急性期医療に係る改定については、実績評価がより厳格化されることから、救急の受入れや重症患者対応など、急性期病院としての役割を確実に果たすことで患者1人当たりの単価は増加すると認識している。

**問** 市立病院における経営改善の取組は。

**答** 沼津市立病院経営改善実行計画に基づき、収入確保のための新たな取組として医療機器購入に当たってのクラウドファンディングや簡易型人間ドックを実施する。また、研究研修費については、全ての医師に対して研究・研修に必要な図書の実施を行い、厳

選して予算を計上したほか、コロナ禍以降、充実が図られているオンライン研修を積極的に取り入れることで旅費を削減するなど、研修の質を確保しつつ経費の削減に努める。

**問** 水道事業における予算編成に対する考え方は。

**答** 社会情勢の変化などにより、引き続き厳しい経営状況が見込まれている。このため、予算編成に当たっては、限られた財源の中、安全・安心な水道水を安定的に供給するとともに、想定される災害等にも備えるため、緊急性・重要性・安全性の観点から事業内容を十分に精査し、優先すべき事業に対して重点的に予算を配分している。

**問** 新たに下水道を整備するエリアは。

**答** 下香貫、吉田町、大岡、岡宮など人口が集中している地区を予定している。

**問** 下水道事業における資本的収入のうち、補助金が増額した理由は。

**答** 令和6年に発生した能登半島地震による下水道施設の大きな被害や令和7年に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の損傷に起因する道路陥没事故等を鑑みると、下水道施設の管理は重要な課題である。このため、国庫補助対象事業となる地震対策事業やストックマネジメント事業について、令和7年度よりも増額して対策を進める。